

集会参加のみなさん 木更津市民のみなさんこんにちは！

私は、基地のない平和な沖縄をめざす千葉の会の座波です。今日は、オスプレイ配備に反対するみなさんに、心から連帯のあいさつを送ります。

すでにご存知のように、沖縄ではいま、沖縄県民の民意＝辺野古に新米軍基地の建設を許さない・絶対反対―の声を無視して、基地建設が強行されています。

憲法で保障する民主主義も基本的人権も地方自治も否定されています。

辺野古の豊かな海を埋め立て、サンゴや200種以上の希少な生物を破壊し消滅させる蛮行を繰り返しています。悲惨な沖縄の地上戦を体験したおじい・おばあは真っ先に、破壊され尽した地で、海の恵みでいのちを繋いだあの”命の海恵みの海”を、戦争のために使われる基地にはいけない！と立ち上がりました。その叫び決意は、多くの住民や市民・県民を奮い立たせています。

木更津市民のみなさん 戦争は平和を自然を破壊します。基地は住民・市民を守りません。真っ先に攻撃の目標にされるのです。オスプレイは”未亡人製造機”といわれる文字通りの「欠陥機」、嫌われ物です。すでに配備されている沖縄では、空中給油に失敗し、北部東海岸に墜落する重大事故を起こしました。また、その騒音は激しく耐えがたく、普天間基地の周辺では、平穏な生活が破壊・脅かされています。離着陸の際にはその強烈な爆風・熱風で、木がなぎ倒され、火災を引き起こす事例も報告されています。みなさん こんな危険な欠陥機がこの地に配備されたらどうなるのでしょうか？

日中子どもたちが学ぶ、遊んでいる市上空を飛び交う。想像しただけでも背すじの凍る思いです。

木更津市民のみなさん 今の生活を守り、子や孫に平和な暮らしを引き継ぐためにもオスプレイ配備を許してはなりません！

沖縄の闘いと連帯し、オスプレイ反対！基地のない平和な日本を実現するために、心と力を合わせ頑張らしましょう！勝利の保障は絶対諦めないことです。

道理ある闘いは必ず勝利する！ ちばらなやーさい！（頑張りましょう）

2019年12月1日

基地のない平和な沖縄をめざす千葉の会

事務局長 座波次信

盤洲干潟は、大潮干潮の時、最大約2km沖まで陸が現れ、その面積は1400ヘクタールに及びます。また小櫃川河口には43ヘクタールもの三角州があり、そこにはヨシが生い茂り、多種多様な動植物の宝庫となっており渡り鳥の中継地でもあります。ここは東京湾で原風景を留めた唯一の自然干潟であり、日本国内においても最大級の砂質干潟となっています。環境省は日本の重要湿地として認めています。

私たち連絡会は、この貴重な干潟を千葉県に自然環境保全地域指定を、また環境省にはラムサール条約登録を要請しています。

今般、そこに隣接する陸上自衛隊木更津駐屯地（米軍木更津飛行場）にオスプレイ17機が暫定配備されようとしていることに、私たちは大きな危機感を持ちます。

漁業を営む人々の仕事場所、子どもから大人までの貴重な自然体験学習の場、渡り鳥にとって貴重なエサ場でもあります。そこに1機または複数機が超低空で飛行訓練などしようものならば、その騒音と振動により、結果は推して知るべしです。

以上のことから、私たちは陸上自衛隊木更津駐屯地にオスプレイ17機を暫定配備することに強く反対します。

2019年12月1日

小櫃川河口・盤洲干潟を守る連絡会

事務局長 御簾納照雄

各界からのメッセージ

安倍一強政治の下、オスプレイ暫定配備や憲法改正の動きを含む平和が、そして雇用をはじめとする暮らしが、脅かされて降ります。

そのような状況において、各地域でも、志を同じくする者が連帯し、それらに対峙する必要があると思います。

我が千葉県においても連携を強化し、千葉県が先頭となって安倍政権にサヨナラを突きつけようではありませんか。

最後に、本日ご参集の皆さまのご健勝をお祈り申し上げます。

2019年12月1日

立憲民主党千葉県連合

代表 生方 幸夫

私達「ヘリパッドいらない」住民の会は千葉県陸上自衛隊木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備に対して強く抗議します。

この配備により、オスプレイ運用が進み、危険が増加・拡大することを懸念しています。

私達の住む沖縄本島北部、東村高江では、集落の周りを取り囲むように6カ所のオスプレイ着陸帯が作られました。

負担軽減とされていましたが、年々騒音は増加。夜間も住宅の上を低空で飛び回っており、騒音と危険に曝されています。

子供の安全を考え、引っ越しを余儀なくされた世帯もあります。

オスプレイは墜落事故が多発するなどし、構造的に欠陥があるとされています。独特の重低音はヘリコプターとは一線を画し、体ごと揺さぶられるような不快感があります。

他国が買わないような欠陥機を莫大な費用をかけ、国民の暮らし、いのちを脅かしてでも強硬配備するのは、一体誰の為なのでしょう。

私達は主権者であり、安心して生活する権利があります。このような危険や犠牲を伴う運用、国の暴走行為を決して許すことは出来ません。

オスプレイ暫定配備反対 12.1 県民大集会の行動に連帯し賛同をさせていただきます。

「ヘリパッドいらない」住民の会 清水 暁

オスプレイいらない！12.1千葉県民集会へ出席の皆さん、今日は。

私たちは、佐賀空港への「オスプレイ反対住民の会」です。

先ず始めに、この度の8月豪雨災害に際しましては、千葉を始め皆様からご支援を頂き、誠に有難う御座いました。お礼申し上げます。

さて、皆さん、私たちは、佐賀空港へのオスプレイ問題が起きた2014年から、一貫して反対しています。一坪たりとも売りません。民有地にオスプレイ用の自衛隊駐屯地など造らせません。

また、防衛省は離島防衛・奪還に「オスプレイは必要」だと言っていますが、本当でしょうか。「オスプレイは、制空権のない所へは、危なくて飛べない」と言われています。

次に、アメリカ以外でオスプレイを導入した国はありません。それでアメリカは開発費も回収出来ないのです。日本に押し付けているのです。

佐賀空港の西側の干潟はラムサール条約に登録され、日本一のシギ・チドリ飛来地・野鳥の楽園です。

11月初旬、近くの河川敷では国際熱気球大会が開催されます。

そうです！佐賀の空には「野鳥や熱気球が飛び、オスプレイは邪魔」なのです。

佐賀の空に、オスプレイはいらない！ 木更津の空にも、日本の空にも、オスプレイはいらない！

と、皆さんと声を合わせて主張します。

最後に、皆さんの集会の成功を祈念し、簡単ですが挨拶と致します。

佐賀空港への自衛隊オスプレイ等配備反対地域住民の会

(略称：オスプレイ反対住民の会) 会長 古賀 初次

防衛省がいくら否定しても、これを最新鋭の兵器として米国から買う国が日本以外にないという事実が、MV-22オスプレイが欠陥機であることをはっきりと証明しています。

さらに普天間基地のオスプレイは、木更津の整備拠点に持ち込んでも、点検整備にどれだけの日数がかかるかがわからない有様です。つまり今飛び回っている米軍のオスプレイは整備不良状態に陥っていることは明らかです。

そんな危険なMV-22オスプレイを、防衛省は配備先も決められないまま巨費を投じ17機も購入契約しました。配備が差し迫ったものの佐賀県民から拒否され、千葉県が整備拠点を受け入れていることを悪用し、木更津駐屯地に押し付けようとしていることは、絶対に許されません。今東京の横田基地には5機の特殊作戦機CV-22オスプレイが配備され、住宅密集地上空を訓練場にして激しい訓練を繰り返しています。特殊作戦部隊の訓練ですから夜間が多く、後部のハッチを開けたまま機関銃の銃口を突き出し、住民を標的に超低空で飛び回っています。

軍隊の訓練はどんな理由をつけても結局は人殺しの訓練です。それは米軍も自衛隊も変わりません。戦争のための訓練をわたしたちが暮らす首都圏の上空を使ってすることが許されるはずがありません。

東京では11月24日に4回目のオスプレイ配備反対東京大集会を横田基地に向かって開催しました。

千葉県民の皆さんと固く連帯し、沖縄県民とも連帯し、日本のどこにもオスプレイはいらない、すべてのオスプレイの配備反対の声を上げ続ける決意です。共に頑張りましょう。

2019年12月1日

横田基地の撤去を求める西多摩の会

世話人代表 高橋美枝子

事務局長 笹田 一忠

「オスプレイ暫定配備反対12.1県民大集会 in 木更津」に連帯のごあいさつをおくりします。

オスプレイは世界に知られた構造的な欠陥機であり、世界でこの軍用機を購入しているのは日本だけです。日本がオスプレイを買うのは、新編された「日本版海兵隊」といわれる水陸機動団を輸送するためであり、これは安保法制＝戦争法具体化のために米軍と一体となって海外展開するものにほかなりません。

これは同時に、トランプ大統領の再選のためにアメリカの貿易赤字を減らす政策に協力する安倍政権の対米従属政治の反映です。

もし、オスプレイが期間不明のまま木更津に暫定配備されれば、横田基地のCV22オスプレイや沖縄から飛来して訓練する米軍のオスプレイを含めて、木更津市や千葉県、そして首都圏がオスプレイの訓練場となります。私たちは、住民のいのちと暮らしを脅かすオスプレイ配備を断じて認めません。

「安倍9条改憲」とその先取りである大軍拡と日米一体化をやめさせましょう。

「日本のどこにもオスプレイはいらない」の声を高めて、全国連帯でオスプレイを追い払いましょう。集会の成功とみなさまの運動の広がりを期待します。

2019年12月1日

安保破棄中央実行委員会事務局長 東森英男

私たち「安保関連法に反対するママの会@ちば」はオスプレイの木更津基地暫定配備に反対する思いで今日ここに集まっておられる皆さんと深く熱く思いを一つにしています。

さる11月18日から三日間、幕張メッセにて開催された世界規模の武器見本市DSEI JAPANは私たちの複数回にわたる中止の申し入れにもかかわらず、強行されてしまいました。

「県民の福祉」に資することを目的として作られた県有施設・幕張メッセは今や、戦争の道具を売って儲けたい死の商人たちの商機の場として使用されてしまっています。

「県民の福祉」とはなんなのでしょうか。

私たちが千葉県に望む「福祉」とは、平和が基本です。

千葉県の平和な空が基本です。

体の芯から揺さぶられるような爆音をたてて飛ぶオスプレイを、子どもたちに怯えた目で見上げさせるようなことは絶対にあってはなりません。

「だれの子どももころさせない」「せんそうのどうぐ つくるのやめよう」を合言葉に活動する私たちは「世界のどこにもオスプレイはいらない」という声をこれまでよりもより大きくあげていくことにします。皆さん、一緒に、頑張りましょう！

2019年12月1日

安保関連法に反対するママの会@ちば 金光理恵

オスプレイ「暫定配備」反対12.1県民大集会にご参加のみなさんへ

千葉県内在住の沖縄出身者と千葉県出身者で組織する「千葉沖縄県人会」です。

本日の集会にも多くの仲間たちが参加しています。

この機会に辺野古新基地建設反対の行動に皆さまからの多大な物心両面でのご支援に感謝とお礼を申し上げます。

私たちは、日米オスプレイの定期機体整備拠点化にも反対を表明してきました。なぜなら構造的欠陥機であるオスプレイが試験飛行等で木更津周辺、南房総地域での飛行は騒音と事故が懸念されたからです。

今回の陸上自衛隊購入のオスプレイ17機を木更津駐屯地に「暫定配備」したいとの要請にも反対いたします。欠陥機であるオスプレイが日常的に訓練することになります。

木更津駐屯地から南房総半島、首都圏、関東近県まで超低空飛行含む訓練が日常化することです。

更に使用開始は来年の3月からと明記していながら終了期限はありません。

一旦使用開始されれば恒久的に使用する意図の表われです。

富津市から千葉市までの臨海工業地帯には鉄鋼、石油、電力、ガス、化学工場と大型の商業施設等が林立しています。同時に工業地帯の前面は豊かな漁業と東京湾の物流拠点です。まさに首都圏の心臓部でもあります。

私たちは、みなさんと心をつなげて防衛省、千葉県知事、木更津市長に対して「暫定配備」しないことを要請します。頑張りましょう。

2019年12月1日

千葉県沖縄県人会 会長 宇良宗英